

■主要諸元

型式			CK3000	CK4000	KL2500	KL3000	TJC3000
仕様(覆土)			ハロー もしくは 鎮圧ローラ	ハロー もしくは 鎮圧ローラ	鎮圧ローラ	鎮圧ローラ	鎮圧ローラ および リアハロー
作業幅	(mm)		3000	4000	2500	3000	3000
機体寸法	全長	(mm)	1050	1050	1500	1500	4500
	全幅	(mm)	3070	4220	3330	3900	3380
	全高	(mm)	1200	1200	1190	1190	1790
機体重量(最小)	(kg)		620(ハロー) 815(鎮圧ローラ)	825(ハロー) 1070(鎮圧ローラ)	920	1050	2735
ホッパー容量 (種子)	(L)		610	840	400	480	1350(最小) 3320(最大)
ホッパー容量 (肥料)	(L)		—	—	600	720	3710— (種子ホッパー容量)
播種部	条間	(mm)	120	121	125	125	125
	施肥条数	(条)	25	33	20	24	24
施肥部	条間	(mm)	—	—	250	250	250
	施肥条数	(条)	—	—	10	12	12
コーンター(播種)	ディスク仕様		シングル	シングル	ダブル	ダブル	シングル
タイヤ	サイズ		10.0/80-12		10.0/75-15.3		7.50-16
	本数		2	2	2	2	12
装着方式			3P直接 カテゴリ2			ドローバ牽引	
最小所要トラクタ出力	(PS)		60	75	80	90	90

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。
 ※この主要諸元はTUME社の情報に基づくものであり、実測値と異なる場合があります。

■作業機付き公道走行のための装備 ※下図はあくまでもイメージなので、実際とは異なる場合があります。

作業機付きトラクターの公道走行対応(P/-P仕様)

**公道走行対応部品を標準装備!
追加部品不要で公道走行が可能!**

反射器/灯火器(方向指示器・制動灯・尾灯・後退灯・車幅灯)/
制限を受けた自動車の標識/全幅と運行速度の表示/外側表示板

※直装式とけん引式、全幅2.5m以下と2.5m超で対応が異なります。
 ※道路運送車両法における大型特殊自動車は対応が異なります。
 ※必要な免許・特殊車両通行許可(全幅2.5m超の場合)が別途必要です。

ヤンマーHP
(公道走行
について)

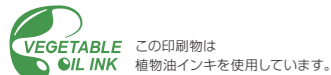



詳しくは二次元コード先を参照もしくは販売店へお問い合わせ下さい。

※図はけん引式(2.5m超)の場合です。

ヤンマーアグリ株式会社
 〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
 yanmar.com

このカタログの仕様は、改良などにより、
予告なく変更することがあります。



- 安全に関するご注意**
- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
 - 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
 - 保証書はご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ

2022年7月作成 © 01120-J01780 2206



YANMAR

グレンドリル/コンビネーションドリル

CK Series / KL Series / TJC Series



高速&高精度

最高車速
10km/h (CK/KL)
15km/h (TJC)

※ほ場条件・作業内容によります。

播種量(施肥量)調整
100段階

大容量&高反収

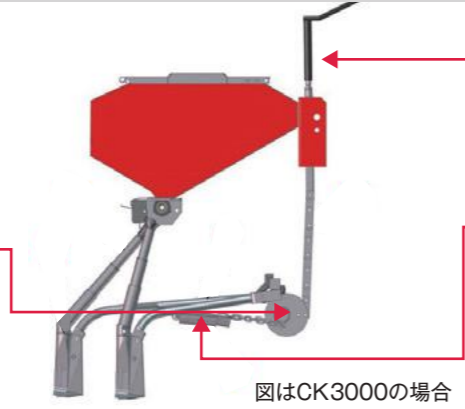
ホッパー容量
610L (CK3000の場合)

播種条間
120mm (CK)
125mm (KL/TJC)

安定した播種深さで高速作業が可能

作物や土質に合わせて播種深さを変更可能

- ②個別調整
播種コルタごとに播種深さを個別に調整
トラクタのタイヤ跡など、任意のコルタの圧力を高めることができます。



図はCK3000の場合

- ①全体調整
全ての播種コルタの播種深さをまとめて調整
まとめて播種深さを調整できるので、調整時間を短縮することができます。

- ③接地圧調整用スプリング
播種コルタに一定の圧力を加えることができ、硬い圃場での高速作業でも跳ね上がりを防止し、播種深さを一定に保つことができます。

播種深さが一定に!

■ディスク仕様

一般的なサフォーク仕様と比べて、ディスクが刺さり込むため、残渣物があっても播種深さが一定になります。また、高速で表層砕土するパワーハローの後作業で用いる事ができ、砕土から播種までの一連の工程を大きく効率化します。



ディスク仕様

覆土方法が選べる!

■ハロー仕様 【覆土】…粘土質な土壌にオススメ

- 覆土することで、鳥被害を低減
 - 保水性と通気性を保ち、発芽を促進
- 土塊が大きいほ場であっても、周辺の細かい土を集めて覆土できます。また、ケンブリッジローラと組み合わせるとより効果的です。

■鎮圧ローラ仕様

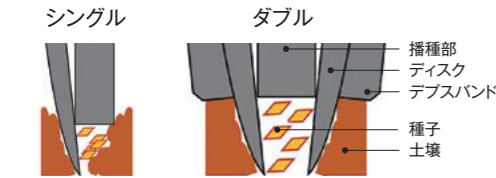
【覆土・鎮圧】…サラサラした土壌(火山灰土・黒土など)にオススメ

- 鎮圧することで播種深さが一定になり、発芽が揃う
 - 保水性が高まることで乾燥した土壌でも高い発芽率
- ケンブリッジローラでは締まりすぎるほ場の場合、適度に鎮圧できる鎮圧ローラ仕様が最適です。



①ハロー仕様

②鎮圧ローラ仕様



ダブルディスクはシングルディスクに比べて播種深度が一定になります。

- ①図中のデプスバンドによって、刺さりすぎを防止する
- ②ダブルディスクによって種の落下位置に土が侵入することを防ぐ。

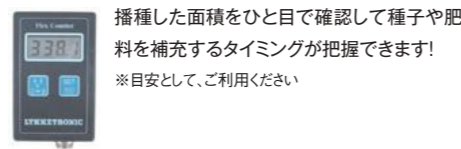
■標準装備(一部の紹介)

播種量・施肥量調整ダイヤル ※全シリーズ共通



100段階の調整ができるため、播種量や施肥量の記録や微調整が簡単かつ正確にできます!

電気式ヘクタールメーター ※全シリーズ共通



播種した面積をひと目で確認して種子や肥料を補充するタイミングが把握できます!
※目安として、ご利用ください

キャリブレーショントレイ ※全シリーズ共通



付属のトレイを使うことで種子が調整通り送出されているか簡単かつ迅速に確認できます!
※写真はCKシリーズ
※TJCは種子用と肥料用のトレイがあります

アジテーターシャフト ※KL・TJCはオプション



ホッパー内をかき混ぜることで流れが悪い種子や肥料でもスムーズに送出されるためより安定した送出を実現します!

マーカ― ※全シリーズ共通



作業位置の目印をつけることで等間隔に播種ができます!
※CKシリーズとKL2500は機械式
※KL3000とTJCシリーズは油圧式

可変式ホッパー(種子・肥料兼用) ※TJCシリーズのみ



仕切り板の位置を①や②のようにして作付け体系に合わせた種子と肥料のホッパー容量に配分を変更できます!
※ 種子と肥料の合計は3710L

■オプション(一部の紹介)

追加ホッパー ※KL2500のみ



種子や肥料を補充する回数が減るので、作業効率がアップします! 種子・肥料の容量が230L増量します。

ステップ ※TJCシリーズのみ



ホッパーに種子や肥料を補充しやすくなります。

小麦・大麦・ソバ・菜種・米などに対応

基肥/追肥をブロードキャスターで行う作業体系の方にオススメ!

60馬力~100馬力
トラクターで
作業したい方

CK3000 作業幅3000mm

CK4000 作業幅4000mm



シンプルで軽く、多彩な組み合わせが可能!

60馬力~のトラクターにも対応!

構造をシンプルにすることで、軽量化と耐久性を両立。国産トラクターでも3mの作業幅が可能。

パワーハローとのコンビ作業で作業時間の短縮!

播種床作りと播種が同時にできて、適期作業が可能。

土質に応じて、覆土方法を選択可能!

粘土質に向けたハロー仕様とサラサラした土質に向けた鎮圧ローラ仕様が選べます。

大容量ホッパーで補充回数を低減!

作業幅3mで610Lの種子用ホッパーを装備しており、遠方の播種にも適しています。

国産トラクター
(YT498)に装着



パワーハローとのコンビ作業

グレンドリルは麦の播種以外にも使えます!

米の乾田直播

水田の乾田直播とは、種籾を畑状態の田んぼに直接播種する栽培法です。

緑肥の播種

緑肥は、肥料や農薬を減らしつつ、適切な品種・適期栽培で堆きゅう肥以上の効果があります。

米の
乾田直播

緑肥の
播種

高い精度で播種できます!

播種と施肥を同時に行い作業工程を減らしたい方にオススメ!

KL2500 作業幅2500mm

KL3000 作業幅3000mm



同時施肥付きで、施肥工程の省略が可能!

側条施肥を行うため、作業工程と肥料が削減できる!

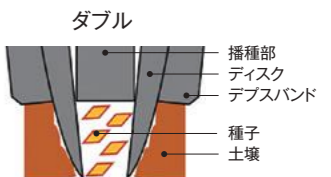
2条の播種に対して1条の施肥を同時に行うことで時間とコストが削減可能

鎮圧ローラは土離れが良く、安定した鎮圧が維持できる!

鎮圧した箇所の土を移動させないため、播種深さを一定に保つことができる

ダブルディスクコルターだから、播種深さが一定になる!

ディスクのデプスバンドにより刺さりすぎを防ぎ、左右にディスクがあることで播種溝に土が侵入することを防ぐ



離れた農地への往来が多い方・作付け面積が大きい方にオススメ!

TJC3000 作業幅3000mm



けん引式のため、トラクターの負担が小さく、高い鎮圧効果!

大容量ホッパーなので補給回数が少なく、作業能率アップ!

作業幅全体を均一な圧力で鎮圧するので、発芽が揃いやすくなる!